

トピックス

秋の注目行事

歴史館いちょうまつり 「和の文化」の祭典

開催期間 平成20年10月26日(日)～11月30日(日)

皆様に親しまれている歴史館のいちょうの黄葉の時期であるこの時期に、日本の伝統的な芸能文化活動をしている方々とともに、茶会、民話会、落語家による講座など、多様な文化を再発見できるイベントを実施します。

開催イベント

11月2日(日), 3日(月・祝) 茶道フェスティバル(国民文化祭事業)

11月16日(日) 落語家による講座「江戸時代の庶民文化の再発見」

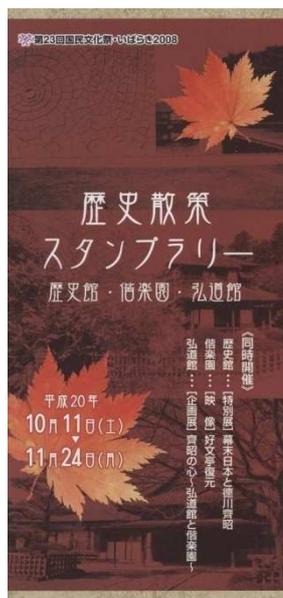
上記以外にも、イベントを開催予定です。イベント情報は後日ホームページなどで広報します。

歴史散策スタンプラリー

実施期間 平成20年10月11日(土)～11月24日(月)

歴史館・偕楽園・弘道館をめぐるスタンプラリーです。3つのスタンプがそろったら、記念絵はがきを進呈します。

スタンプラリーのスタート及び記念絵はがきのお受け取りは歴史館、偕楽園、弘道館のどこでもOKです。茨城県立歴史館特別展「幕末日本と徳川齊昭」にあわせて、齊昭が創設した偕楽園と弘道館をめぐる歴史散策をお楽しみください。



平成20年度 上半期の事業から

小・中学生「よろい・かぶと体験」 平成20年5月5日（月・祝）



開館前から行列ができるほどの人気で、用意した整理券は、あっという間になくなってしまいました。

体験が始まると、歴史館ボランティアの方に手伝ってもらいながら、よろいやかぶとを身にまとった子ども達は、思い思いにカメラの前でポーズをとっていました。参加者の中には、小さな子や女の子などもいました。「重くて、歩きづらいよ」という声が多く聞かれましたが、満足そうな顔からは、よろいやかぶとの着心地を十分に実感できた様子がうかがえました。

歴史館探検ツアー

平成20年6月8日（日）



拓本作り

22名の児童が参加し、収蔵庫や機械室、貴賓室など、普段では見ることができない歴史館の裏側を探検しました。蓄音機でレコードを聴いたり、土器の拓本作りにも挑戦したりして、歴史館ならではの体験を満喫しました。

参加した子どもたちからは「歴史館のどこの部屋で、どんなことをしているかが分かって勉強になりました。」「普通では入れない所に入れて良かったです。」「県庁の文書が段ボールにたくさんあって驚いた。」などの感想が聞かれました。

県指定文化財の旧水海道小学校を見学した後、一人一人に認定証とそれぞれが作った拓本のしおりが手渡されました。受け取ったものをうれしそうに見ている子どもたちの姿がとても印象的な場面でした。

次回は11月29日（土曜日）に実施します。



民俗収蔵庫内での説明

歴史教室

第1回 6月14日(土)

第2回 9月6日(土)



当館研究員が、日頃研究している成果の一端を発表するために毎年開催しているものです。今年度は4回実施しますが、第1回目は首席研究員 柳橋正雄による「間宮林蔵とシーボルト - 江戸中後期における北方情勢の渦中で - 」, 第2回目は歴史館研究専門員(委嘱) 内山俊身による「新皇・平将門の生きた世界 - 県西地域の歴史的特質を考える - 」というテーマでの発表がおこなわれました。

第3回目以降は次の予定です。

12月13日(土)「太田鉄道と水戸鉄道」
首席研究員 木村秀弘

2月7日(土)「寛政院様御実録をよむ」
首席研究員 笹目礼子

各回とも14:00~16:00

定員は先着200名です。

歴史館コンサート

第1回 平成20年6月20日(金)

第2回 平成20年9月19日(金)

スタインウェイ&サンズ社が1865年に製造したグランドピアノを用いて、年に3回コンサートを開催しています。

平成20年度 第1回(6月20日)は大竹泰夫氏(フルート)と山崎裕氏(ピアノ), 第2回(9月19日)は野田由季氏(ピアノ)による演奏があり鑑賞者はその美しい音色に酔いしれ、感動していました。

次回の「歴史館コンサート(ピアノ&ハープの演奏)」は11月21日(金), 演奏者は星子知美氏(ピアノ)と安田朋子氏(ハープ)のお二人です。



大竹氏(フルート)と山崎氏(ピアノ)



野田氏(ピアノ)

小・中学生いにしえのピアノ演奏体験

第1回 6月21日(土)・22日(日) 2日間

第2回 9月20日(土)・21日(日) 2日間



歴史館コンサートでも使用したスタインウェイ&サンズ社のグランドピアノを用いた「小・中学生いにしえのピアノ演奏体験」を、こちらも年に3回実施しています。

参加した子どもたちは、歴史あるピアノの演奏体験とあって、緊張しながらも普段ではできない貴重な体験を楽しんでいました。

次回は11月22日(土)・23日(日)に実施します。

歴史館ボランティアの方によるイベントが開催されました！

ちょっと昔のあそび 紙ひこうきをつくってとばそう！

平成20年7月20日(日)

午前の部、午後の部の2回実施し、合計で28名の子どもたちが参加しました。歴史館ボランティアの方に教えてもらいながら、いろいろな形の紙ひこうきを作りました。気がつくと、お父さんやお母さんの方が夢中になっていました。最後に、みんなで紙ひこうきを飛ばし、飛んだ距離を測ったり、飛んでいた時間を計ったりして、楽しく過ごしました。

参加した子どもたちからは、「いろいろな折り方が分かってよかった」「こんなに飛んでいた紙ひこうきは初めて。うれしかった」などの感想が聞かれました。

9月15日(月・祝)に、青少年会館で行われた「第3回 ユース・アイ・フェス」にも「紙ひこうきをつくってとばそう！」を出展し、多くの参加者で賑わいました。

ボランティアの方によるイベントは今後も実施予定です。



夏休み親子歴史教室

7月26日(土), 8月2日(土)



今年度は『戦国時代のよろい・かぶと博士になろう』というテーマで、最初に本館の主任研究員 毛塚裕之から、よろい・かぶとの基本構成や各部の名前などの説明を受けた後、実際によろい・かぶとを身につけ、着心地や重さを体験しました。

参加した子どもたちからは、「初めて着られて、うれしかった」「格好いいけど、重かった」などの感想が聞かれました。

歴史館まつり

平成20年8月17日(日)

歴史館まつりは、多くの方に歴史館に親しんでいただくことを目的に、毎年この時期に開催しています。

当日は、館内及び庭園内で多くのイベントが行われました。

まがたま作り体験では、親子で「まがたま作り」にチャレンジしたり、歴史館ウォークラリーでは、多くの子どもたちが庭園内の各ポイントに設置された問題を解きながら楽しそうにスタンプを集める姿がみられました。



まがたま作り体験



歴史館ウォークラリー

テーマ展 「茨城県初代知事山岡鉄舟 - 全生庵所蔵資料から - 」

開催期間平成20年8月30日(土)～9月28日(日)

明治維新の動乱期に活躍し、茨城県の初代知事(任官名は参事)となった山岡鉄舟。剣・禅・書の達人と称され、西郷隆盛や勝海舟などとも親交があり、また、明治天皇の侍従も勤めました。

そうした山岡鉄舟の人物像や魅力について、彼が創建した東京・谷中にあるお寺「全生庵」の所蔵資料から紹介するテーマ展を開催しました。

会期中には、講演会、ギャラリートーク、歴史館寄席(落語・講談)、展示解説、演武&講演会など多くの関連行事が行われました。なかでも歴史館寄席は8月31日(日)に、五街道雲助氏による落語・『真景累ヶ淵』より「豊志賀の死」を、9月7日(日)に、一龍齋貞山氏による講談「山岡鉄舟伝」を行い、両日ともプロの落語家や講談師の出演とあって会場は満席となり、観覧した人たちは本格的な芸を目前に満喫していました。



五街道雲助氏による落語
『真景累ヶ淵』より「豊志賀の死」



一龍齋貞山氏による講談
「山岡鉄舟伝」

上記事業の内容及び今後の予定についてのお問い合わせは、

茨城県立歴史館 教育普及課 電話029-225-4425

または、ホームページの「お問い合わせ」からメールをお送りください。